

「2022年度 日系企業のモノとITサービス、 ソフトウェアの国際競争ポジションに関する 情報収集」に係るRFIについて

2022年4月

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構
技術戦略研究センター



- **Request For Information** (情報提供依頼) のこと。
- RFIは、先導研究プログラムの課題設定やNEDO技術戦略の検討等に活用させていただくものであり、直接的にプロジェクトを実施したり、資金を獲得するものではありません。

2. 本委託調査について

■ 件名:

2022年度 日系企業のモノとITサービス、ソフトウェアの国際競争ポジションに関する情報収集

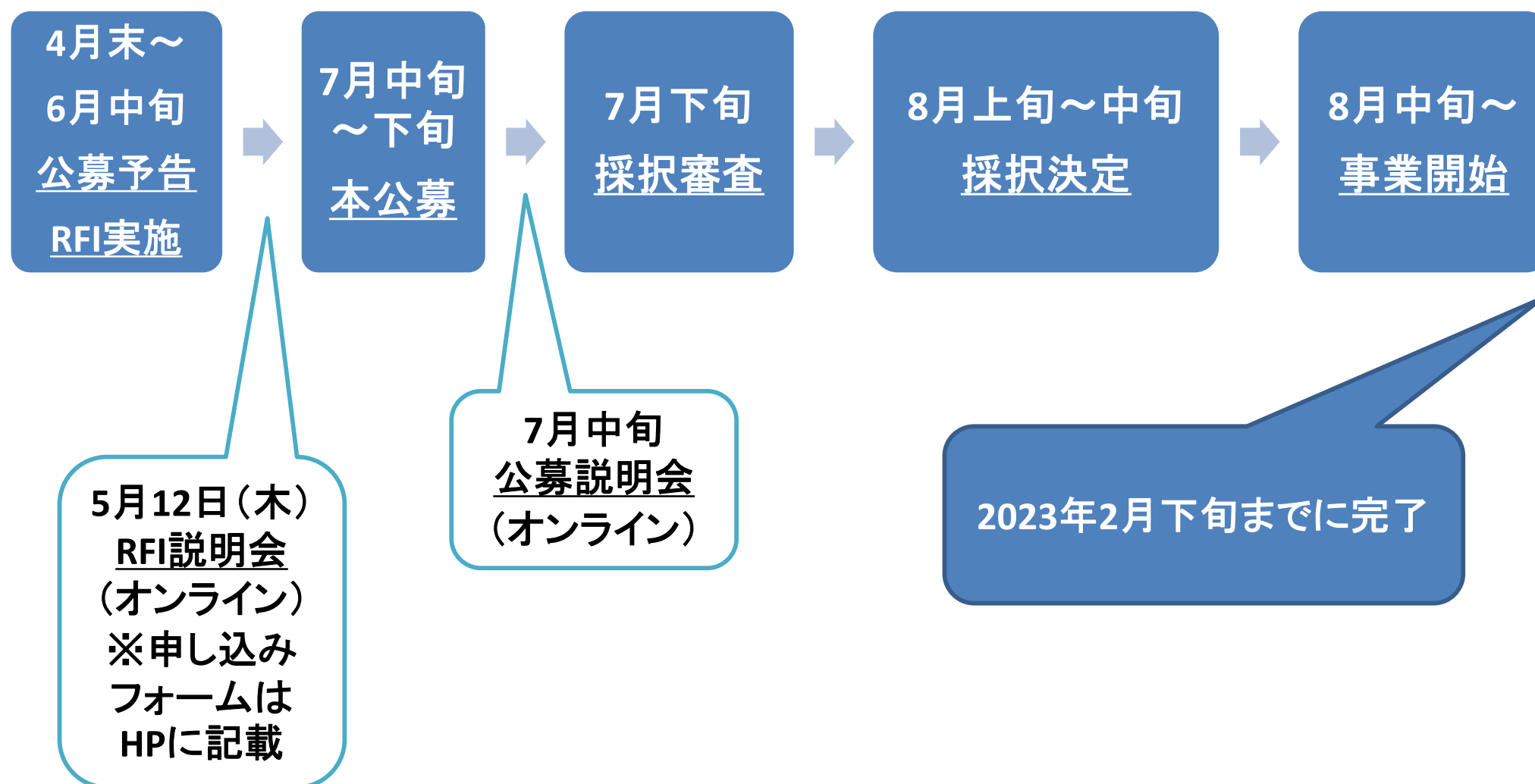
■ 概要:

NEDOの研究開発プロジェクトでは、新産業創出や産業競争力強化を図れる研究開発を重点的に実施することが求められており、主に、1) エネルギー政策及び産業政策上の必要性が高いこと、2) 企業単独の実施ではリスクが高く、民間主導では十分な検討がなされないこと、がプロジェクト選定における基本的な考え方となっています。

本事業では、NEDOが上記目的を達成するプロジェクトを継続的に推進していくための情報収集の一環として、近年重要性がますます高まっているモノに付随するITサービス及びソフトウェアについて世界市場での日系企業の国際競争ポジションの現況と動向を明らかにすることを目的とします。特に多様化するユーザーニーズに柔軟に対応するモノとITサービス及びソフトウェアとの技術融合が重要になっており、いくつかの注目製品におけるITサービス及びソフトウェアについて、ITサービスと製品との市場関連性の分析を行います。一方、産業競争力の源泉であるモノを中心とした代表的な製品についても、世界市場規模と企業国籍区分別の売上高占有率(シェア)を調査します。また、それらの年推移等を併せて分析することによって、モノとITサービス及びソフトウェアにおける日系企業の国際競争ポジション、業界構造、サプライチェーン、ビジネスモデルの現況と動向を明らかにします。

3. 2022年度調査委託スケジュール(予定)

■ RFI～事業開始までの流れは以下の通りです(変更する可能性があります)。



4. RFIでご提案を求めたい事項

- [昨年度と同調査仕様書](#)をご確認いただき、下記3項目についてのご提案をお寄せください。必要事項とご提案の概要をWeb入力フォームに記載の上、詳細やイメージ図については指定の情報提供書(補足情報)*に作成し、Web入力フォームにアップロードしてください。

*フォーマットは資料欄に掲載しています。P.1作成にあたっての注意事項を確認し作成してください。

1. 調査対象

(参考:2021年度の調査対象)

代表的な最終製品・キーテクノロジー製品について、過去5年(2016年から2020年)単年毎の世界市場規模実績及び世界の企業国籍区分別の売上高占有率実績を推計する。

2. データの収集方法

(参考:2021年度のデータ収集方法)

- ①統計資料や文献・書籍等(インターネット情報を含む)の分析、各製品市場への参入企業や関連業界団体／協会に対するインタビュー調査等。
- ②製品別データシートの作成

3. データ評価

(参考:2021年度のデータ評価)

調査を行ったITサービス及びソフトウェア製品のうち、代表的な製品を選定し、企業国籍(日系企業、米国系企業、欧州系企業、中国系企業、台湾系企業、韓国系企業、その他外国資本企業)区分毎に、直近5カ年(2016年から2020年)の世界市場規模と市場占有率、及び売上額年推移をバブルチャートにて示す。

4. RFI作成のポイント

■ 「1. 調査対象」の記載例

1. 「調査対象」について	「（説明資料）RFIについて」の5ページ、及び昨年度同調査の仕様書 をご参照の上、本調査の「調査対象」である、以下3項目(最終製品、 キーテクノロジー製品、サービス・ソフトウェア製品)について、項目 ごとに区分と調査対象とした理由を簡潔・具体的に記載してください。	
1-(1)最終製品(区分)	複数記載可	自動車、ロボット等の調 査対象の大括りの産業 区分を記載ください。
1-(1)最終製品(理由)	区分を複数記載した場合は、区分ごとに理由を記載してください。	
1-(2)キーテクノロジー製品(区分)	複数記載可	自動車：主要製品であるため ロボット：需要増加傾向であるため
1-(2)キーテクノロジー製品(理由)	区分を複数記載した場合は、区分ごとに理由を記載してください。	
1-(3)サービス・ソフトウェア製品(区分)	複数記載可	
1-(3)サービス・ソフトウェア製品(理由)	区分を複数記載した場合は、区分ごとに理由を記載してください。	

4. RFI作成のポイント

■ 「2. データの収集方法」の記載例

2.データの収集方法	データの収集方法は、調査対象のデータ収集方法を簡潔・具体的に記載ください。	
2-(1)データの収集方法		↑ ↓
2-(2)まとめ方		↑ ↓

統計資料や文献・書籍等（インターネット情報を含む）の分析、各製品市場への参入企業や関連業界団体／協会に対するインタビュー調査等の現時点の具体的なデータ収集方法を記載ください。

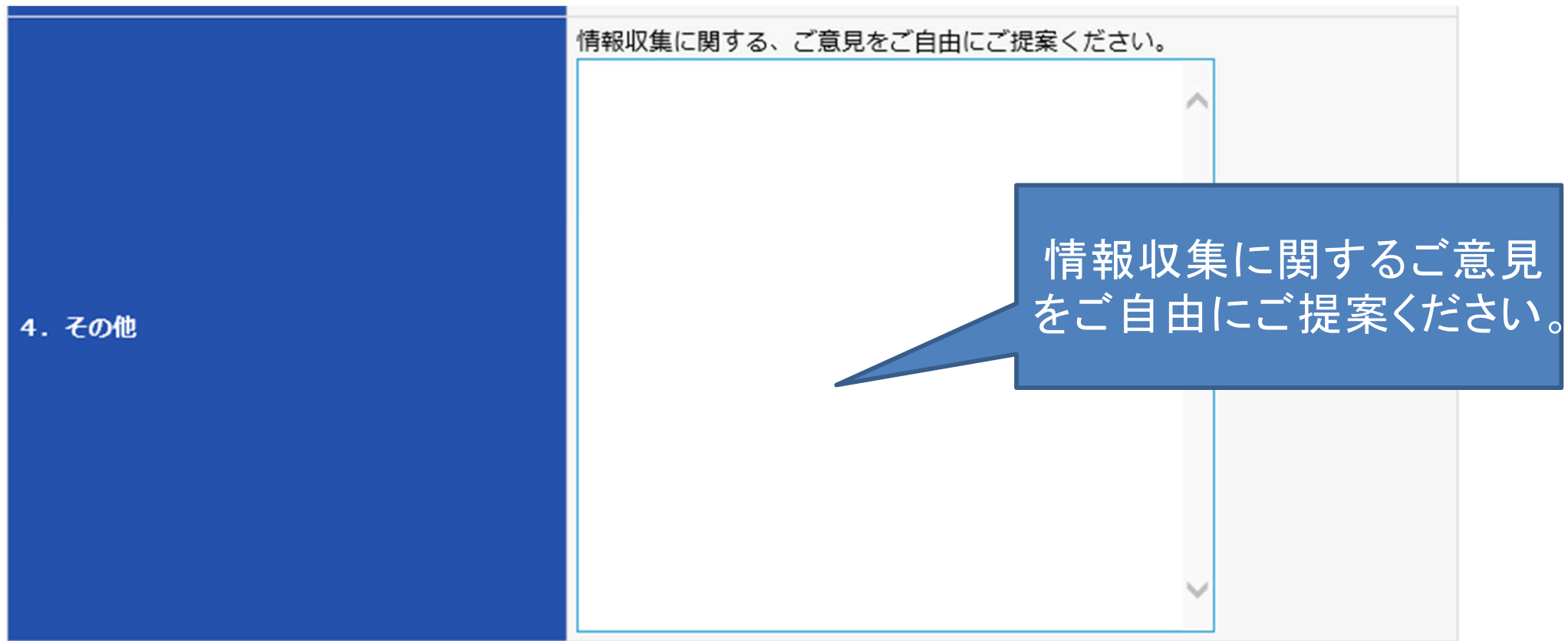
製品別データシート（エクセル）等のデータのまとめ方について具体的に記載ください。

■「3. データ評価」の記載例

3. 「データ評価」について	「（説明資料）RFIについて」の5ページ、及び昨年度同調査の仕様書をご参照の上、本調査の以下3項目の「データ評価」についてそれぞれご提案がございましたら記載ください。また、記載欄が不足した場合やイメージ像についてはNEDO指定のパワーポイント形式の情報提供書（補足資料）で作成してください（予告ページの資料に掲載）。
3-(1)マーケット、プレーヤー	（例：国際ポジション推移、注目市場）
3-(2)サプライチェーン	（例：最終、中間、川上分析、業界構造）
3-(3)ビジネスモデル、モノ・IT融合	（例：ITサービスと製品）

4. RFI作成のポイント

■ 「4. その他」



4. その他

情報収集に関する、ご意見をご自由にご提案ください。

情報収集に関するご意見
をご自由にご提案ください。

4. RFI作成のポイント

■ 情報提供書(補足情報)の記載例

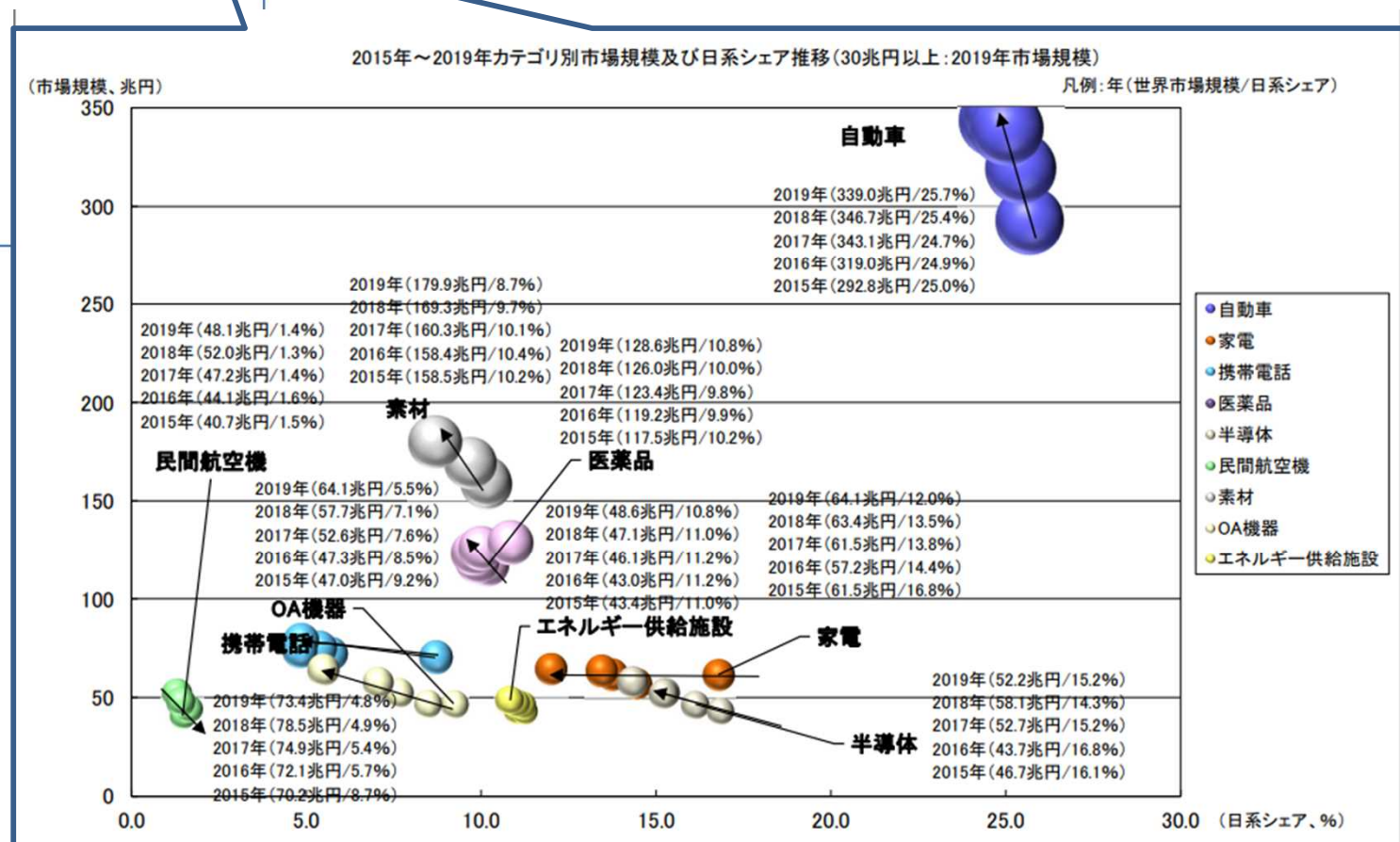
(補足情報)「3. データ評価」



「3. データ評価」に関するご提案の補足情報

イメージ図等

図、写真、グラフ等を用いて、
情報提供書の具体的な補足情報
を記載ください。



■ ご提出方法

- RFIのHPにございますWeb入力フォームから調査対象、データの収集方法、データ評価についての情報提供と提案者情報を入力し、提出してください。

<https://app23.infoc.nedo.go.jp/koubo/qa/enquetes/1ivlptg3qrwy>

※ご提出にあたっての注意事項

- ✓ 入力・アップロード等の操作途中で提出期限が来て完了できなかった場合は、受け付けることができません。
- ✓ 通信トラフィック状況等により、入力やアップロードに時間がかかる場合があります。特に、提出期限直前は混雑する可能性がありますので、余裕をもって提出してください。

■ RFIの提出期限、お問い合わせ先

- 提出期限: 2022年6月17日(金)正午
- お問い合わせ先:
NEDO技術戦略研究センター マクロ分析ユニット 荑塚、泉、吉岡
E-MAIL: tsc-unit tsc-unit@ml.nedo.go.jp